



中小企業診断士 長尾 彰久  
(一社)新潟県中小企業診断士協会

業務改善プロジェクトチームを立ち上げてスローガンを大々的に掲げたのに、いつの間にか自然消滅して「あの件どうなった？」状態になっている事はありませんか。一度決めたテーマを最後までやり切るのには思っているほど簡単ではなく、相当根気がいることです。改善テーマを成功させるには、

- ①ゴールを明確に決めること（何のために、何をどこまで、いつまでに、誰がやるか）
- ②決めた事をやり続け、最後までやり切る事が不可欠です。今回は②についての話です。

改善テーマ活動が自然消滅するのはなぜか。これまでご一緒した担当者のお話や私自身の経験から、主に次のような理由があると思います。

- 担当者がテーマの目的とスケジュールに納得していない
- 日々の仕事が忙しすぎる
- やろうとしている事が大変すぎてくじけてしまう
- 飽きてくる
- やっても褒められない やらなくても何も言われない

改善活動が自然消滅しないように、リーダーはゴールを見失わずにメンバーと励まし合いながらしつこくやり続けることが大事です。その方法の一つとして、スケジュール表を作って毎週または毎日、短時間のミーティングをして進捗状況を確認することをお勧めします。「そんな当たり前の事、うちは昔からやってるよ」と思われるかもしれませんが、実際にテーマ完結まで続いた例は少ないのではないのでしょうか。

例) ある製造工程の加工時間短縮を目指すテーマのスケジュール表

No.	何を	いつまでに	誰が	完了
1	現状の加工時間データを取る	11月11日（金）	Aさん	<input checked="" type="checkbox"/>
2	一番時間が掛かっている作業を特定する	11月18日（金）	Bさん	<input type="checkbox"/>
3	作業に時間が掛かる要因を調べる	11月25日（金）	Cさん	<input type="checkbox"/>
...	...	...	...	...

どれだけ綿密に立てたスケジュールでも、遅れたり作業が増えたりする事はあります。その都度現実的なスケジュールに見直します。遅れているからと言って説教したり怒鳴ったりせず、どうすれば遅れを取り戻せるか、実際いつまでにできそうかを確認して担当者を励ましながら進めましょう。忙しくても、活動に進展がなくても、マンネリ化と批判されても、この進捗状況確認のルーティーンは1分でも良いので途切れさせずにしつこく続けてください。それを最後までやり切った結果、もし改善効果が思わしくなくても、スケジュール表に全部完了マークがついた時の達成感は格別です。しつこいリーダーは一度は嫌われるかもしれませんが、チームで励まし合ってやり切った後には尊敬の念に変わることでしょう。こうした体験を積み重ね、決めた事をしつこくやり切る事が組織の文化として根付けば、競合他社が簡単に真似できない強みになります。特別な強みがなくてお悩みの事業経営者様は、この「しつこくやり切る力」を磨き上げて業界を生き抜く戦略を一つの案としてご検討ください。

**【問い合わせ先】**

新潟県中小企業診断士協会  
 ホームページ： <https://www.n-smeca.jp/>  
 電話：025-378-4021  
 Eメール：office@n-smeca.jp